

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 31 年度）収入

（金額：千円）

記載項目		金額	積算根拠等
（収入）			
指定管理料(提案額)		19,100	
A. 利用料収入		14,305	施設全体の利用率を60%として想定
内訳	・潮芦屋集会所	2,463	駐車場料金は、現状据え置き 付属設備費用等
	・国際交流センター	3,420	
	・屋外交流広場	5,657	
	・駐車場	2,093	
	・その他	672	
B. 事業収入		4,649	
内訳	① 多文化共生推進事業小計	457	
	・姉妹都市交流事業	90	芦屋市、モンテペロ市のグッズ販売
	・外国人のための日本語教室	215	教室授業料@200 円*1075 回開催
	・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	114	受講料@3000 円*38 人
	・日本の伝統を伝える文化教室	38	華道、茶道、書道教室の材料代等 各 10 回程度
	② 自主事業収入小計	4,192	
	・多文化共生のための講演会	75	入場料@1000 程度*75 人
	・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	147	受講、入場料@700 円*各 3 回*35 人
	・世界の料理教室	660	受講料@2200 円*30 名*10 回
	・ワールドフェスタ	223	@200~300 円 800 食程度販売
	・国際親善イベント (文化祭、小旅行)	87	文化祭 7000 円:参加費 大人@200 円*25 人、子供@100 円*20 人 小旅行 80000 円:参加費 大人@2000 円*35 人、子供@1000 円*10 人
	・語学教室(英語、英会話)	3,000	受講料@1500 円*50 名*40 回
C. その他		150	利用者用コピー機売り上げ他
計(A)		38,204	

※事業収入は平成 31 年度 10 月導入予定の消費税 2%アップ²及び受講料 3%値上げを加味した。

5年間の合計指定管理料 96,500 千円(税込)

※芦屋市からの指定管理料の上限金額： 96, 650 千円(税込)

※単年度収支を記載してください。

※事業費、自主事業費について、人件費や一般管理費等を按分できる場合は、按分して記載し、按分比率及び、算定根拠について明示ください

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 31 年度）支出

（金額：千円）

記載項目	金額	積算根拠等
(支出)		
A. 人件費	17,204	館長1名 600 千円、事務局長1名 3600 千円、正規職員3名 8300 千円、非常勤職員3名 2800 千円、社会保険費用等 1904 千円
B. 修繕費	398	諸少修繕費用
C. 管理費	257	備品購入費、ホームページ維持管理費、保険料
D. 事務費	2,223	消耗、新聞・図書、印刷、通信、郵送、リース、研修、交通他雑費
E. 光熱水費	2,803	電気・水道費用
F. 委託費 (設備保守・清掃・植栽・点検等)	8,271	夜間受付、屋内・屋外清掃費及び施設維持管理費 (EV、受電盤、駐車場開閉、自動ドア、空調等点検)
G. 事業費	5,687	
内 ① 多文化共生推進事業小計	2,053	
訳 ・姉妹都市交流事業	1,211	航空運賃 370 千円、ホストファミリー費用 120 千円、歓送迎会 111 千円、送迎バス 214 千円、広島平和学習 126 千円、その他 270 千円
・コスモネット作成・発行	155	約 70 部/月*12 回発行 交通費@1500 円*6 人*12 回:108 千円 その他郵送料 47 千円
・外国人のための日本語教室	538	講師交通費@500 円*1075 回
・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	84	講師料@12000*7 回
・日本の伝統を伝える文化教室	65	講師料@1000 円*3 人*10 回:30 千円、その他材料代 35 千円
② 自主事業小計	3,634	
・多文化共生のための講演会	71	講演者謝金@50000 円、その他消耗品 21 千円
・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	191	演者謝金@10000 円*3 回、音響調整費用@15000 円*3 回
・世界の料理教室	530	演者謝金@30000 円*3 回、その他消耗品 26 千円
・ワールドフェスタ	151	講師料@22000 円*10 回、材料費@31000 円*10 回 飲み物・食事材料代 116 千円、演者謝金@20000 円、音響調整費用@15000 円
・国際親善イベント (文化祭、小旅行)	131	文化祭:消耗品 29 千円 小旅行:バス代 92 千円、高速代 5 千円、保険 5 千円
・語学教室(英語、英会話)	2,560	講師料@8000 円*40 回*8 人
H. その他公租	1,328	平成 31 年度 10 月導入予定の消費税 2%アップを加味した。
(B)	38,171	
収支差額(A)－(B)	33	

※ 人件費を除く支出の全てについて、平成 31 年度 10 月導入予定の消費税 2%アップを加味した。

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 32 年度） 収入

（金額：千円）

記載項目		金額	積算根拠等
(収入)			
指定管理料(提案額)		19,160	
A. 利用料収入		14,611	施設全体の利用率を62.5%として想定
内 訳	・潮芦屋集会所	2,525	駐車場料金は、現状据え置き 付属設備費用等
	・国際交流センター	3,506	
	・屋外交流広場	5,798	
	・駐車場	2,093	
	・その他	689	
B. 事業収入		4,766	
内 訳	① 多文化共生推進事業小計	468	
	・姉妹都市交流事業	92	芦屋市、モンテペロ市のグッズ販売
	・外国人のための日本語教室	220	教室授業料@200円*1075回開催
	・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	117	受講料@3000円*38人
	・日本の伝統を伝える文化教室	39	華道、茶道、書道教室の材料代等 各10回程度
	② 自主事業収入小計	4,298	
	・多文化共生のための講演会	77	入場料@1000程度*75人
	・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	151	受講、入場料@700円*各3回*35人
	・世界の料理教室	677	受講料@2200円*30名*10回
	・ワールドフェスタ	229	@200~300円 800食程度販売
・国際親善イベント (文化祭、小旅行)	89	文化祭 7000円:参加費 大人@200円*25人、子供@100円*20人 小旅行 80000円:参加費 大人@2000円*35人、子供@1000円*10人	
・語学教室(英語、英会話)	3,075	受講料@1500円*50名*40回	
C. その他		150	利用者用コピー機売り上げ他
計(A)		38,687	

※ 事業収入は平成 31 年度 10 月導入予定の消費税 2%アップ及び受講料 3%値上げを加味した。(積算金額は平成 31 年度の事業収入の 1.025 倍して計上)

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 32 年度） 支出

（金額：千円）

記載項目	金額	積算根拠等
(支出)		
A. 人件費	17,462	館長1名 609 千円、事務局長1名 3654 千円、正規職員3名 8425 千円、非常勤職員3名 2842 千円、社会保険費用等 1932 千円(人件費 1.5%アップ)
B. 修繕費	402	諸少修繕費用
C. 管理費	260	備品購入費、ホームページ維持管理費、保険料
D. 事務費	2,245	消耗、新聞・図書、印刷、通信、郵送、リース、研修、交通他雑費
E. 光熱水費	2,831	電気・水道費用
F. 委託費 (設備保守・清掃・植栽・点検等)	8,354	夜間受付、屋内・屋外清掃費及び施設維持管理費 (EV、受電盤、駐車場開閉、自動ドア、空調等点検)
G. 事業費	5,745	
内訳		
① 多文化共生推進事業小計	2,074	
・姉妹都市交流事業	1,223	航空運賃 370 千円、ホストファミリー費用 120 千円、歓送迎会 111 千円、送迎バス 214 千円、広島平和学習 126 千円、その他 270 千円
・コスモネット作成・発行	157	約 70 部/月*12 回発行 交通費@1500 円*6 人*12 回:108 千円 その他郵送料 47 千円
・外国人のための日本語教室	543	講師交通費@500 円*1075 回
・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	85	講師料@12000*7 回
・日本の伝統を伝える文化教室	66	講師料@1000 円*3 人*10 回:30 千円、その他材料代 35 千円
② 自主事業小計	3,671	
・多文化共生のための講演会	72	講演者謝金@50000 円、その他消耗品 21 千円
・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	193	演者謝金@10000 円*3 回、音響調整費用@15000 円*3 回
・世界の料理教室	535	演者謝金@30000 円*3 回、その他消耗品 26 千円
・ワールドフェスタ	153	講師料@22000 円*10 回、材料費@31000 円*10 回 飲み物・食事材料代 116 千円、演者謝金@20000 円、音響調整費用@15000 円
・国際親善イベント (文化祭、小旅行)	132	文化祭:消耗品 29 千円 小旅行:バス代 92 千円、高速代 5 千円、保険 5 千円
・語学教室(英語、英会話)	2,586	講師料@8000 円*40 回*8 人
H. その他公租	1,341	平成 31 年度 10 月導入予定の消費税 2%アップを加味した。
(B)	38,640	
収支差額(A)－(B)	47	

※ 人件費を除く支出の全てについて、平成 31 年度 10 月導入予定の消費税 2%アップを加味した。(積算金額は平成 31 年度の事業収入の 1.01 倍で計上)

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 33 年度） 収入

（金額：千円）

記載項目		金額	積算根拠等
(収入)			
指定管理料(提案額)		19,920	
A. 利用料収入		14,611	施設全体の利用率を62%として想定
内 訳	・潮芦屋集会所	2,525	駐車場料金は、現状据え置き 付属設備費用等
	・国際交流センター	3,506	
	・屋外交流広場	5,798	
	・駐車場	2,093	
	・その他	689	
B. 事業収入		4,766	
内 訳	① 多文化共生推進事業小計	468	
	・姉妹都市交流事業	92	芦屋市、モンテペロ市のグッズ販売
	・外国人のための日本語教室	220	教室授業料@200 円*1075 回開催
	・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	117	受講料@3000 円*38 人
	・日本の伝統を伝える文化教室	39	華道、茶道、書道教室の材料代等 各 10 回程度
	② 自主事業収入小計	4,298	
	・多文化共生のための講演会	77	入場料@1000 程度*75 人
	・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	151	受講、入場料@700 円*各 3 回*35 人
	・世界の料理教室	677	受講料@2200 円*30 名*10 回
	・ワールドフェスタ	229	@200~300 円 800 食程度販売
・国際親善イベント (文化祭、小旅行)	89	文化祭 7000 円:参加費 大人@200 円*25 人、子供@100 円*20 人 小旅行 80000 円:参加費 大人@2000 円*35 人、子供@1000 円*10 人	
・語学教室(英語、英会話)	3,075	受講料@1500 円*50 名*40 回	
C. その他		150	利用者用コピー機売り上げ他
計(A)		39,447	

※ 事業収入の積算金額は平成 32 年度と同一とした。

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 33 年度） 支出

（金額：千円）

記載項目	金額	積算根拠等
(支出)		
A. 人件費	17,462	館長1名 609千円、事務局長1名 3654千円、正規職員3名 8425千円、非常勤職員3名 2842千円、社会保険費用等 1932千円
B. 修繕費	402	諸少修繕費用
C. 管理費	260	備品購入費、ホームページ維持管理費、保険料
D. 事務費	2,245	消耗、新聞・図書、印刷、通信、郵送、リース、研修、交通他雑費
E. 光熱水費	2,831	電気・水道費用
F. 委託費 (設備保守・清掃・植栽・点検等)	8,354	夜間受付、屋内・屋外清掃費及び施設維持管理費 (EV、受電盤、駐車場開閉、自動ドア、空調等点検)
G. 事業費	6,545	
内 ① 多文化共生推進事業小計	2,874	
訳 ・姉妹都市交流事業	1,223	航空運賃 370千円、ホストファミリー費用 120千円、歓送迎会 111千円、送迎バス 214千円、広島平和学習 126千円、その他 270千円
・コスモネット作成・発行	157	約 70部/月*12回発行 交通費@1500円*6人*12回:108千円 その他郵送料 47千円
・外国人のための日本語教室	543	講師交通費@500円*1075回
・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	85	講師料@12000*7回
・日本の伝統を伝える文化教室	66	講師料@1000円*3人*10回:30千円、その他材料代 35千円
・姉妹都市提携 60周年記念事業	800	
② 自主事業小計	3,671	
・多文化共生のための講演会	72	講演者謝金@50000円、その他消耗品 21千円
・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	193	演者謝金@10000円*3回、音響調整費用@15000円*3回
・世界の料理教室	535	演者謝金@30000円*3回、その他消耗品 26千円
・ワールドフェスタ	153	講師料@22000円*10回、材料費@31000円*10回 飲み物・食事材料代 116千円、演者謝金@20000円、 音響調整費用@15000円
・国際親善イベント (文化祭、小旅行)	132	文化祭:消耗品 29千円 小旅行:バス代 92千円、高速代 5千円、保険 5千円
・語学教室(英語、英会話)	2,586	講師料@8000円*40回*8人
H. その他公租	1,341	平成 31 年度 10 月導入予定の消費税 2%アップを加味した。
(B)	39,440	
収支差額(A)－(B)	7	

※ 人件費を除く支出の積算金額は平成 32 年度と同一とした。

※ 平成 33 年度のみ、姉妹都市提携 60 周年記念事業費を計上。

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 34 年度） 収入

（金額：千円）

記載項目		金額	積算根拠等
（収入）			
指定管理料（提案額）		19,160	
A. 利用料収入		14,611	施設全体の利用率を62%として想定
内 訳	・潮芦屋集会所	2,525	駐車場料金は、現状据え置き 付属設備費用等
	・国際交流センター	3,506	
	・屋外交流広場	5,798	
	・駐車場	2,093	
	・その他	689	
B. 事業収入		4,766	
内 訳	① 多文化共生推進事業小計	468	
	・姉妹都市交流事業	92	芦屋市、モンテペロ市のグッズ販売
	・外国人のための日本語教室	220	教室授業料@200 円*1075 回開催
	・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	117	受講料@3000 円*38 人
	・日本の伝統を伝える文化教室	39	華道、茶道、書道教室の材料代等 各 10 回程度
	② 自主事業収入小計	4,298	
	・多文化共生のための講演会	77	入場料@1000 程度*75 人
	・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	151	受講、入場料@700 円*各 3 回*35 人
	・世界の料理教室	677	受講料@2200 円*30 名*10 回
	・ワールドフェスタ	229	@200~300 円 800 食程度販売
・国際親善イベント （文化祭、小旅行）	89	文化祭 7000 円：参加費 大人@200 円*25 人、子供@100 円*20 人 小旅行 80000 円：参加費 大人@2000 円*35 人、子供@1000 円*10 人	
・語学教室(英語、英会話)	3,075	受講料@1500 円*50 名*40 回	
C. その他		150	利用者用コピー機売り上げ他
計(A)		38,687	

※ 事業収入の積算金額は平成 32 年度と同一とした。

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 34 年度） 支出

（金額：千円）

記載項目	金額	積算根拠等
(支出)		
A. 人件費	17,462	館長1名 609 千円、事務局長1名 3654 千円、正規職員3名 8425 千円、非常勤職員3名 2842 千円、社会保険費用等 1932 千円
B. 修繕費	402	諸少修繕費用
C. 管理費	260	備品購入費、ホームページ維持管理費、保険料
D. 事務費	2,245	消耗、新聞・図書、印刷、通信、郵送、リース、研修、交通他雑費
E. 光熱水費	2,831	電気・水道費用
F. 委託費 (設備保守・清掃・植栽・点検等)	8,354	夜間受付、屋内・屋外清掃費及び施設維持管理費 (EV、受電盤、駐車場開閉、自動ドア、空調等点検)
G. 事業費	5,745	
内訳		
① 多文化共生推進事業小計	2,074	
・姉妹都市交流事業	1,223	航空運賃 370 千円、ホストファミリー費用 120 千円、歓送迎会 111 千円、送迎バス 214 千円、広島平和学習 126 千円、その他 270 千円
・コスモネット作成・発行	157	約 70 部/月*12 回発行 交通費@1500 円*6 人*12 回:108 千円 その他郵送料 47 千円
・外国人のための日本語教室	543	講師交通費@500 円*1075 回
・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	85	講師料@12000*7 回
・日本の伝統を伝える文化教室	66	講師料@1000 円*3 人*10 回:30 千円、その他材料代 35 千円
② 自主事業小計	3,671	
・多文化共生のための講演会	72	講演者謝金@50000 円、その他消耗品 21 千円
・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	193	演者謝金@10000 円*3 回、音響調整費用@15000 円*3 回
・世界の料理教室	535	演者謝金@30000 円*3 回、その他消耗品 26 千円
・ワールドフェスタ	153	講師料@22000 円*10 回、材料費@31000 円*10 回 飲み物・食事材料代 116 千円、演者謝金@20000 円、音響調整費用@15000 円
・国際親善イベント (文化祭、小旅行)	132	文化祭:消耗品 29 千円 小旅行:バス代 92 千円、高速代 5 千円、保険 5 千円
・語学教室(英語、英会話)	2,586	講師料@8000 円*40 回*8 人
H. その他公租	1,341	平成 31 年度 10 月導入予定の消費税 2%アップを加味した。
(B)	38,640	
収支差額(A)－(B)	47	

※ 人件費を除く支出の積算金額は平成 32 年度と同一とした。

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 35 年度） 収入

（金額：千円）

記載項目		金額	積算根拠等
(収入)			
指定管理料(提案額)		19,160	
A. 利用料収入		14,611	施設全体の利用率を62%として想定
内 訳	・潮芦屋集会所	2,525	駐車場料金は、現状据え置き 付属設備費用等
	・国際交流センター	3,506	
	・屋外交流広場	5,798	
	・駐車場	2,093	
	・その他	689	
B. 事業収入		4,766	
内 訳	① 多文化共生推進事業小計	468	
	・姉妹都市交流事業	92	芦屋市、モンテペロ市のグッズ販売
	・外国人のための日本語教室	220	教室授業料@200 円*1075 回開催
	・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	117	受講料@3000 円*38 人
	・日本の伝統を伝える文化教室	39	華道、茶道、書道教室の材料代等 各 10 回程度
	② 自主事業収入小計	4,298	
	・多文化共生のための講演会	77	入場料@1000 程度*75 人
	・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	151	受講、入場料@700 円*各 3 回*35 人
	・世界の料理教室	677	受講料@2200 円*30 名*10 回
	・ワールドフェスタ	229	@200~300 円 800 食程度販売
・国際親善イベント (文化祭、小旅行)	89	文化祭 7000 円:参加費 大人@200 円*25 人、子供@100 円*20 人 小旅行 80000 円:参加費 大人@2000 円*35 人、子供@1000 円*10 人	
・語学教室(英語、英会話)	3,075	受講料@1500 円*50 名*40 回	
C. その他		150	利用者用コピー機売り上げ他
計(A)		38,687	

※ 事業収入の積算金額は平成 32 年度と同一とした。

7 管理運営費（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

（平成 35 年度） 支出

（金額：千円）

記載項目 (支出)	金額	積算根拠等
A. 人件費	17,462	館長1名 609 千円、事務局長1名 3654 千円、正規職員3名 8425 千円、非常勤職員3名 2842 千円、社会保険費用等 1932 千円
B. 修繕費	402	諸少修繕費用
C. 管理費	260	備品購入費、ホームページ維持管理費、保険料
D. 事務費	2,245	消耗、新聞・図書、印刷、通信、郵送、リース、研修、交通他雑費
E. 光熱水費	2,831	電気・水道費用
F. 委託費 (設備保守・清掃・植栽・点検等)	8,354	夜間受付、屋内・屋外清掃費及び施設維持管理費 (EV、受電盤、駐車場開閉、自動ドア、空調等点検)
G. 事業費	5,745	
内訳		
① 多文化共生推進事業小計	2,074	
・姉妹都市交流事業	1,223	航空運賃 370 千円、ホストファミリー費用 120 千円、歓送迎会 111 千円、送迎バス 214 千円、広島平和学習 126 千円、その他 270 千円
・コスモネット作成・発行	157	約 70 部/月*12 回発行 交通費@1500 円*6 人*12 回:108 千円 その他郵送料 47 千円
・外国人のための日本語教室	543	講師交通費@500 円*1075 回
・日本語ボランティア養成講座と ブラッシュアップ講座	85	講師料@12000*7 回
・日本の伝統を伝える文化教室	66	講師料@1000 円*3 人*10 回:30 千円、その他材料代 35 千円
② 自主事業小計	3,671	
・多文化共生のための講演会	72	講演者謝金@50000 円、その他消耗品 21 千円
・多文化共生をめざした ・セミナー、コンサート	193	演者謝金@10000 円*3 回、音響調整費用@15000 円*3 回
・世界の料理教室	535	演者謝金@30000 円*3 回、その他消耗品 26 千円
・ワールドフェスタ	153	講師料@22000 円*10 回、材料費@31000 円*10 回 飲み物・食事材料代 116 千円、演者謝金@20000 円、音響調整費用@15000 円
・国際親善イベント (文化祭、小旅行)	132	文化祭:消耗品 29 千円 小旅行:バス代 92 千円、高速代 5 千円、保険 5 千円
・語学教室(英語、英会話)	2,586	講師料@8000 円*40 回*8 人
H. その他公租	1,341	平成 31 年度 10 月導入予定の消費税 2%アップを加味した。
(B)	38,640	
収支差額(A)－(B)	47	

※ 人件費を除く支出の積算金額は平成 32 年度と同一とした。

8 人件費及び損害保険料内訳

(平成 31 年度)

(1) 人件費内訳

年齢・職種ごとに月額を記載し、算定根拠を明示ください。なお、兵庫県の最低賃金を上回っていない場合は失格となります。

役職・職種	雇用形態	年齢	年額(千円)	月額(円)	算定根拠など
館長	非常勤	72 歳	600	50,000	役職・経験より
事務局長	正職員	60 歳	3,600	300,000	役職・経験より
事務職員 A	正職員	55 歳	2,900	241,667	役職・経験より
事務職員 B	正職員	52 歳	2,750	229,167	役職・経験より
事務職員 C	正職員	45 歳	2,650	220,833	役職・経験より
事務スタッフ A	非常勤職員	46 歳	1,300	108,333	時間給 1015 円
事務スタッフ B	非常勤職員	50 歳	750	62,500	時間給 863 円
事務スタッフ C	非常勤職員	22 歳	750	62,500	時間給 863 円
小計			15,300	1,275,000	
社会保険費用			1,904	158,667	
人件費合計			17,204	1,433,667	

(2) 施設賠償責任保険内訳

保険種類・保険種目・てん補限度額・免責金額・保険料について明示してください。

指定管理施設における利用者のケガ・事故に対して、「施設賠償責任保険」に加入します。さらに、自然災害に起因するケガやイベント時におけるケガなどに対する保険、管理する金銭についても保険にも加入し、万が一の事故に対応します。

保険種類	保険対象	保険目的・内容	てん補限度額・免責金額	保険料
賠償責任保険	施設建物内・ 駐車場・昇降 機利用者 屋外交流施 設利用者(*)	業務に起因する賠償責任の 保障 (指定管理者特約条項付)	対人対物1事故 10 億 円(免責 0 円) 第三者医療費用特約 (被害者1名に付 50 万 円限度)	29,900 円
レジャーサ ービス施設 費用保険	全施設利用 者・来場者・ 施設職員全 員(*)	災害(火災・落雷・破裂・爆 発・ひょう・雪害・施設外から の物体の落下、飛来、衝突、 倒壊)によるケガの保障	被災者対応 200 万円 災害広告費用 200 万円 傷害見舞い費用 屋内のみ食中毒を担保	78,840 円
コーポレー トマネーガ ード保険	輸送中・営業外金庫内保管中の貨幣・紙幣・ 有価証券の保障		100 万円	18,000 円
各イベント 保険	自主事業のイベントごとに傷害保険を付保す る(姉妹都市学生親善使節交換事業・外国人 支援のためのバス旅行など)		イベントごとに判断	姉妹都市 13,710 円 バス旅行 2,080 円

(*)協会の理事・監事・職員は対象外のため、別途ボランティア保険を付保

8 人件費及び損害保険料内訳

(平成 32 年度)

(1) 人件費内訳

役職・職種	雇用形態	年齢	年額(千円)	月額(円)	算定根拠など
館長	非常勤	73 歳	609	50,750	役職・経験より
事務局長	正職員	61 歳	3,654	304,500	役職・経験より
事務職員 A	正職員	56 歳	2,944	245,333	役職・経験より
事務職員 B	正職員	53 歳	2,791	232,583	役職・経験より
事務職員 C	正職員	46 歳	2,690	224,167	役職・経験より
事務スタッフ A	非常勤職員	47 歳	1,320	110,000	時間給 1030 円
事務スタッフ B	非常勤職員	51 歳	761	63,417	時間給 876 円
事務スタッフ C	非常勤職員	23 歳	761	63,417	時間給 876 円
小計			15,530	1,294,167	
社会保険費用			1,932	161,000	
人件費合計			17,462	1,455,167	

(2) 施設賠償責任保険内訳

指定管理施設における利用者のケガ・事故に対して、「施設賠償責任保険」に加入します。さらに、自然災害に起因するケガやイベント時におけるケガなどに対する保険、管理する金銭についても保険にも加入し、万が一の事故に対応します。

保険種類	保険対象	保険目的・内容	てん補限度額・免責金額	保険料
賠償責任保険	施設建物内・ 駐車場・昇降 機利用者 屋外交流施 設利用者(*)	業務に起因する賠償責任の 保障 (指定管理者特約条項付)	対人対物1事故 10 億 円(免責 0 円) 第三者医療費用特約 (被害者1名に付 50 万 円限度)	29,900 円
レジャーサ ービス施設 費用保険	全施設利用 者・来場者・ 施設職員全 員(*)	災害(火災・落雷・破裂・爆 発・ひょう・雪害・施設外から の物体の落下、飛来、衝突、 倒壊)によるケガの保障	被災者対応 200 万円 災害広告費用 200 万円 傷害見舞い費用 屋内のみ食中毒を担保	78,840 円
コーポレー トマネーガ ード保険	輸送中・営業外金庫内保管中の貨幣・紙幣・ 有価証券の保障		100 万円	18,000 円
各イベント 保険	自主事業のイベントごとに傷害保険を付保す る(姉妹都市学生親善使節交換事業・外国人 支援のためのバス旅行など)		イベントごとに判断	姉妹都市 13,710 円 バス旅行 2,080 円

(*)協会の理事・監事・職員は対象外のため、別途ボランティア保険を付保

8 人件費及び損害保険料内訳

(平成 33 年度)

(1) 人件費内訳

役職・職種	雇用形態	年齢	年額(千円)	月額(円)	算定根拠など
館長	非常勤	74 歳	609	50,750	役職・経験より
事務局長	正職員	62 歳	3,654	304,500	役職・経験より
事務職員 A	正職員	57 歳	2,944	245,333	役職・経験より
事務職員 B	正職員	54 歳	2,791	232,583	役職・経験より
事務職員 C	正職員	47 歳	2,690	224,167	役職・経験より
事務スタッフ A	非常勤職員	48 歳	1,320	110,000	時間給 1030 円
事務スタッフ B	非常勤職員	52 歳	761	63,417	時間給 876 円
事務スタッフ C	非常勤職員	24 歳	761	63,417	時間給 876 円
小計			15,530	1,294,167	
社会保険費用			1,932	161,000	
人件費合計			17,462	1,455,167	

(2) 施設賠償責任保険内訳

指定管理施設における利用者のケガ・事故に対して、「施設賠償責任保険」に加入します。さらに、自然災害に起因するケガやイベント時におけるケガなどに対する保険、管理する金銭についても保険にも加入し、万が一の事故に対応します。

保険種類	保険対象	保険目的・内容	てん補限度額・免責金額	保険料
賠償責任保険	施設建物内・駐車場・昇降機利用者 屋外交流施設利用者(*)	業務に起因する賠償責任の保障 (指定管理者特約条項付)	対人対物1事故 10 億円(免責 0 円) 第三者医療費用特約 (被害者1名に付 50 万円限度)	29,900 円
レジャーサービス施設費用保険	全施設利用者・来場者・施設職員全員(*)	災害(火災・落雷・破裂・爆発・ひょう・雪害・施設外からの物体の落下、飛来、衝突、倒壊)によるケガの保障	被災者対応 200 万円 災害広告費用 200 万円 傷害見舞い費用 屋内のみ食中毒を担保	78,840 円
コーポレートマネーガード保険	輸送中・営業外金庫内保管中の貨幣・紙幣・有価証券の保障		100 万円	18,000 円
各イベント保険	自主事業のイベントごとに傷害保険を付保する(姉妹都市学生親善使節交換事業・外国人支援のためのバス旅行、姉妹都市提携 60 周年記念事業など)		イベントごとに判断	姉妹都市 13,710 円 バス旅行 2,080 円 60 周年事業 7,500 円

(*)協会の理事・監事・職員は対象外のため、別途ボランティア保険を付保

8 人件費及び損害保険料内訳

(平成 34 年度)

(1) 人件費内訳

役職・職種	雇用形態	年齢	年額(千円)	月額(円)	算定根拠など
館長	非常勤	75 歳	609	50,750	役職・経験より
事務局長	正職員	63 歳	3,654	304,500	役職・経験より
事務職員 A	正職員	58 歳	2,944	245,333	役職・経験より
事務職員 B	正職員	55 歳	2,791	232,583	役職・経験より
事務職員 C	正職員	48 歳	2,690	224,167	役職・経験より
事務スタッフ A	非常勤職員	49 歳	1,320	110,000	時間給 1030 円
事務スタッフ B	非常勤職員	53 歳	761	63,417	時間給 876 円
事務スタッフ C	非常勤職員	25 歳	761	63,417	時間給 876 円
小計			15,530	1,294,167	
社会保険費用			1,932	161,000	
人件費合計			17,462	1,455,167	

(2) 施設賠償責任保険内訳

保険種類・保険種目・てん補限度額・免責金額・保険料について明示してください。

指定管理施設における利用者のケガ・事故に対して、「施設賠償責任保険」に加入します。さらに、自然災害に起因するケガやイベント時におけるケガなどに対する保険、管理する金銭についても保険にも加入し、万が一の事故に対応します。

保険種類	保険対象	保険目的・内容	てん補限度額・免責金額	保険料
賠償責任保険	施設建物内・駐車場・昇降機利用者 屋外交流施設利用者(*)	業務に起因する賠償責任の保障 (指定管理者特約条項付)	対人対物1事故 10 億円(免責 0 円) 第三者医療費用特約 (被害者1名に付 50 万円限度)	29,900 円
レジャーサービス施設費用保険	全施設利用者・来場者・施設職員全員(*)	災害(火災・落雷・破裂・爆発・ひょう・雪害・施設外からの物体の落下、飛来、衝突、倒壊)によるケガの保障	被災者対応 200 万円 災害広告費用 200 万円 傷害見舞い費用 屋内のみ食中毒を担保	78,840 円
コーポレートマネーガード保険	輸送中・営業外金庫内保管中の貨幣・紙幣・有価証券の保障		100 万円	18,000 円
各イベント保険	自主事業のイベントごとに傷害保険を付保する(姉妹都市学生親善使節交換事業・外国人支援のためのバス旅行など)		イベントごとに判断	姉妹都市 13,710 円 バス旅行 2,080 円

(*)協会の理事・監事・職員は対象外のため、別途ボランティア保険を付保

8 人件費及び損害保険料内訳

(平成 35 年度)

(1) 人件費内訳

役職・職種	雇用形態	年齢	年額(千円)	月額(円)	算定根拠など
館長	非常勤	76 歳	609	50,750	役職・経験より
事務局長	正職員	64 歳	3,654	304,500	役職・経験より
事務職員 A	正職員	59 歳	2,944	245,333	役職・経験より
事務職員 B	正職員	56 歳	2,791	232,583	役職・経験より
事務職員 C	正職員	49 歳	2,690	224,167	役職・経験より
事務スタッフ A	非常勤職員	50 歳	1,320	110,000	時間給 1030 円
事務スタッフ B	非常勤職員	54 歳	761	63,417	時間給 876 円
事務スタッフ C	非常勤職員	26 歳	761	63,417	時間給 876 円
小計			15,530	1,294,167	
社会保険費用			1,932	161,000	
人件費合計			17,462	1,455,167	

(2) 施設賠償責任保険内訳

指定管理施設における利用者のケガ・事故に対して、「施設賠償責任保険」に加入します。さらに、自然災害に起因するケガやイベント時におけるケガなどに対する保険、管理する金銭についても保険にも加入し、万が一の事故に対応します。

保険種類	保険対象	保険目的・内容	てん補限度額・免責金額	保険料
賠償責任保険	施設建物内・ 駐車場・昇降 機利用者 屋外交流施 設利用者(*)	業務に起因する賠償責任の 保障 (指定管理者特約条項付)	対人対物1事故 10 億 円(免責 0 円) 第三者医療費用特約 (被害者1名に付 50 万 円限度)	29,900 円
レジャーサ ービス施設 費用保険	全施設利用 者・来場者・ 施設職員全 員(*)	災害(火災・落雷・破裂・爆 発・ひょう・雪害・施設外から の物体の落下、飛来、衝突、 倒壊)によるケガの保障	被災者対応 200 万円 災害広告費用 200 万円 傷害見舞い費用 屋内のみ食中毒を担保	78,840 円
コーポレー トマネーガ ード保険	輸送中・営業外金庫内保管中の貨幣・紙幣・ 有価証券の保障		100 万円	18,000 円
各イベント 保険	自主事業のイベントごとに傷害保険を付保す る(姉妹都市学生親善使節交換事業・外国人 支援のためのバス旅行など)		イベントごとに判断	姉妹都市 13,710 円 バス旅行 2,080 円

(*)協会の理事・監事・職員は対象外のため、別途ボランティア保険を付保

指定管理者選定採点集計表 (NPO法人芦屋市国際交流協会)

審査項目及び審査基準	配点	基準点						小計	基準点 チェック	
			A委員	B委員	C委員	D委員	E委員			
1 管理運営に当たっての基本方針	30点	75	22	23	22	24	21	112	○	50/100
(1) 管理運営に当たっての基本方針について	(10点)		7	7	7	8	7			
(2) 団体の理念及び運営方針について	(10点)		8	8	7	9	7			
(3) 団体の業務推進能力について	(10点)		7	8	8	7	7			
2 管理体制	20点	50	15	14	14	17	15	75	○	50/100
(1) 潮芦屋交流センターの管理体制について	(10点)		7	7	7	7	7			
(2) 緊急時の対応について	(10点)		8	7	7	10	8			
3 施設の維持・管理運営	40点	100	31	28	29	34	31	153	○	50/100
(1) 施設の維持管理について	(10点)		8	7	7	10	8			
(2) 個人情報保護の措置について	(10点)		8	7	7	9	8			
(3) 管理の質及び利用者サービス向上の取り組みについて	(10点)		7	7	8	8	8			
(4) 有料施設の管理運営について	(10点)		8	7	7	7	7			
4 事業への取り組み	40点	100	27	28	28	27	26	136	○	50/100
(1) 多文化共生推進事業について	(10点)		6	6	6	6	6			
(2) 市内在住外国人に対する支援事業について	(10点)		7	7	7	5	6			
(3) 国際交流関係団体のマネジメント、活動等の支援について	(10点)		7	7	7	7	6			
(4) 姉妹都市交流事業について	(10点)		7	8	8	9	8			
5 自主事業案	30点	75	19	19	21	20	19	98	○	50/100
(1) 事業内容について	(10点)		7	6	8	7	7			
(2) 地域コミュニティ発展への取り組みについて	(10点)		6	6	7	6	6			
(3) 創意工夫について	(10点)		6	7	6	7	6			
6 管理運営費 (予定価格を上回る場合は失格)	40点	100	28	28	28	35	28	147	○	50/100
(1) 管理運営費の提案に工夫が見られるか	(10点)		7	7	7	9	7			
(2) 管理運営費の積算の根拠が明確で適切になっているか	(10点)		6	6	7	7	7			
(3) 適正な人件費になっているか	(10点)		7	7	7	9	7			
(4) 適正な損害保険加入になっているか	(10点)		8	8	7	10	7			
合計点数	200点	700	142	140	142	157	140	721	○	70/100
採点合計	1000点						721			